

小川赤十字病院 化学療法レジメン

対象疾患名 胃癌

申請レジメン名	FOLFOX+ZOL	
放射線治療併用	☐ 有	☒ 無
1コースの目安	1コース	14日

催吐リスク	中度
根拠文献	The Lancet. 2023 May;401(10389):1655-68
投与回数上限	☐ 有(回) ☒ 無

レジメン内容

No.	抗がん剤名 (溶解液等を含む)	標準的投与量	投与量注釈	投与方法	投与時間 (投与速度)	上限量	Day													
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
	カロナール錠200mg	3錠		内服	ビロイ投与30分前		○													
1	生理食塩液	100ml		中心静注	ライン確保・フラッシュ用		○													
2	パロノセトロン点滴静注バッグ アロカリス点滴静注 デキサート注射液 ボララミン注	0.75mg/50ml 235mg 9.9mg 5mg		中心静注	30分		○													
1	生理食塩液	50ml		中心静注	5分		○													
3	ビロイ点滴静注 生理食塩水	(初回)800mg/㎡ (2回目以降)400mg/㎡ 500ml	*フィルター付きライン使用 *1V当たり注射用水5mlで溶解 * 2mg/mlになるように調製	中心静注	別途指定された速度で投与		○													
1	生理食塩液	50ml		中心静注	5分		○													
4	レボホリナート点滴静注用 大塚糖液5%	200mg/㎡ 250ml		中心静注	120分		○													
5	オキサリプラチン点滴静注液 大塚糖液5%	85mg/㎡ 250ml	*レボホリナートと同時投与	中心静注	120分		○													
6	5-FU注 生理食塩水	400mg/㎡ 50ml		中心静注	5分		○													
7	5-FU注 生理食塩水	2400mg/㎡ 150ml	*シユアフューザーポンプ使用	中心静注	46h		○													
8	デカドロン錠0.5mg	4mg/day		内服				分2	分2											

注意事項 * レジメン名は、似た名称を避けるため変更することがあります。 * このシートは1コース分が記載されています。 * 1回投与量の上限がある場合には上限量が記載されます。	備考(化学療法に必ず併用される特殊な手技・化学療法の中止基準) デキサメタゾンは、耐糖能等によって適宜増減 * 1V当たり日本薬局方注射用水5.0mLにより溶解し、20mg/mL。 * フィルター付きライン使用 * 室温で希釈後6 時間以内に投与を完了すること * 初回: 開始～10分 25ml/hr→10～20分 50ml/hr⇒20～30分 75ml/hr→30分～1hr 75ml/hr→1～2hr 150ml/hr→2hr～ 300ml/hr(★投与速度は変更されることがあります) * 2回目以降 75ml/h(最初の30分間)→150ml/h(それ以降)
--	--